

令和4年度四日市スマートリージョン・コア推進協議会

第3回幹事会

開催日時 令和5年3月27日（月）13:30～15:30
開催場所 四日市商工会議所 3階大会議室（オンライン併用）

1 議事次第

- ・議題 第1号 今年度のスケジュールについて・・・・・・・・・・資料2
- ・議題 第2号 ワーキンググループ（WG）の実施報告・・・・・・・・・・資料3
- ・議題 第3号 実行計画の進捗について・・・・・・・・・・資料4
- ・議題 第4号 データサーベイの結果報告・・・・・・・・・・資料5
- ・議題 第5号 スマート・インフラに係る検討の状況について・・・・・・・・・・資料6
- ・議題 第6号 その他報告事項について・・・・・・・・・・資料7
- ・その他

2 各議題の説明

議題 第1号 今年度のスケジュールについて

前回（令和4年度第2回）幹事会幹事会で提示した今年度内のスケジュール案を状況に合わせて更新しております。詳細は資料2を参照ください。

議題 第2号 ワーキンググループ（WG）の実施報告

前回（令和4年度第2回）幹事会以降、データプラットフォームWGとデータプラットフォームWG主催のワークショップを一度ずつ、モビリティWGとモビリティWG主催の分科会を一度ずつ開催いたしました。各WGの実施状況、及びデータプラットフォームの構築状況についてご説明します。詳細は資料3を参照ください。

議題 第3号 実行計画の進捗について

昨年度本協議会にて議論した「スマートリージョン・コア実行計画」について、定期的に管理・見直しを行うことが記載されています。また、ロードマップとして中央通り再編事業が完了する予定の令和9年度頃を目指した目標スケジュールが記載されています。

前回幹事会で提示した実行計画の管理・見直しの方法に基づき、実行計画の進捗をまとめた2022フォローアップ資料としてとりまとめました。詳細は資料4をご覧ください。

議題 第4号 データサーベイの結果報告

9/22（木）～10/16（日）、中央通りの一部エリアにおいて四日市市主催の賑わい創出社会実験「はじまりのいち」を開催いたしました。同イベントにあわせ、会場の利用状況や温湿度等、多面的なデータを取得・分析するデータサーベイを行いました。

本議題では、データサーベイから得られた主な知見についてご報告いたします。資料5をご覧ください。

議題 第5号 スマート・インフラに係る検討について

スマート化に向けたサービス展開のために必要なセンシング機器や通信機器等を「スマート・インフラ」として実行計画に記載しております。今年度工事発注が行われる中央通り再編の先行整備区間（西2工区）において、「スマート・インフラ」の導入を行うべく、具体的な発注に向けて四日市市が検討を進めており、次年度早々にはプロポーザルを実施する予定です。発注する業務内容や仕様の概要について整理しておりますので、詳しくは資料6を参照ください。

議題 第6号 その他報告事項について

前号までの議題で今年度の主な進捗状況をご説明いたしましたが、以下の項目について補足説明をいたします。詳細は資料7をご覧ください。

- ・ローカル5Gの整備状況について
- ・3D都市モデルの構築状況について

3 資料

資料1：次第・議案書（本紙）

資料2：今年度のスケジュールについて

資料3：WGの実施状況について

資料4：四日市SRC実行計画フォローアップ資料2022

資料5：データサーベイ結果報告書（概要版）

資料6：スマート・インフラに係る検討について

資料7-1：スマート・インフラ（ローカル5G／光管路）整備進捗報告およびYOKKAICHI Great Expoについて

資料7-2：3D都市モデルの構築状況について

別添1：出席者名簿

別添2：席次表

以上

今年度のスケジュールについて

資料2

		令和4 (2022)年度											現時点
		5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
四日市 スマート リージョン ・コア 推進協議会	実行計画の 見直し												
	データ プラッ ト フォームWG	● 第4回 5/25				● 第5回 9/15			● 第6回 11/24		● WS 1/17		● 第7回 3/8
	モビリティWG			● 第4回 7/20		● 第5回 9/15 第1回分科会		● 前橋市ヒアリング 11/17	● 第2回分科会 11/21	● 第3回分科会 1/18	● 第6回 2/17		● 第4回分科会 3/16
	その他												
四日市市	データプラットフォームの 発注			← プロポーザル →		← 契約 →		→ データプラットフォーム構築 →					
	社会実験				← 賑わい創出社会実験 →								
	中央通り再編 先行工事											→ 年度内: 工事発注等について検討中 →	
	3D都市モデル の構築											→ 年度内: 3D都市モデルの構築予定 →	

ワーキンググループ（WG）の設置状況

資料3

令和3年12月にデータプラットフォームWGとモビリティWGをそれぞれ以下のメンバー構成で設置した。
 本年度はデータプラットフォームWGを4回、モビリティWGを3回その他、ワークショップや分科会を開催した。

データプラットフォームWG参画企業	位置づけ
(株)シー・ティー・ワイ	代表
近鉄グループホールディングス(株)	
三岐鉄道(株)	
(株)三十三銀行	
中部電力(株)	
(株)日建設計シビル	
(株)バカン	
(株)FIXER	
富士通Japan(株)	
(株)マクニカ	
三重交通(株)	
四日市商工会議所	
内閣官房 オープンデータ伝道師 武蔵大学 庄司 昌彦	アドバイザー
四日市市	事務局
(株)日建設計総合研究所	事務局補佐

モビリティWG参画企業	位置づけ
(株)マクニカ	代表
近鉄グループホールディングス(株)	
三岐鉄道(株)	
(株)シー・ティー・ワイ	
中部電力(株)	
(株)日建設計シビル	
(株)バカン	
(株)FIXER	
富士通Japan(株)	
FUTURE(株)	
三重県タクシー協会	
三重交通(株)	
四日市商工会議所	
国土交通省三重河川国道事務所	オブザーバー
四日市市	事務局
(株)日建設計総合研究所	事務局補佐

(代表、アドバイザー、オブザーバー、事務局および事務局補佐を除き五十音順_敬称略)

ワーキンググループ（WG）の設置状況

モビリティWGにおいて、

「次世代モビリティ分科会」「データ連携・MaaS創出分科会」を設置し、次世代モビリティ分科会を2回、データ連携・MaaS創出分科会を4回開催した。

モビリティWG「分科会」の開催状況

代表：(株)マクニカ

事務局：四日市市

事務局補佐：(株)日建設計総合研究所

次世代モビリティ分科会	データ連携・MaaS創出分科会
(株)シー・ティー・ワイ	近鉄グループホールディングス(株)
(株)FIXER	(株)シー・ティー・ワイ
富士通Japan(株)	(株)バカン
三重交通(株)	(株)FIXER
	富士通Japan(株)
	三重交通(株)
	四日市商工会議所

データプラットフォームWG 実施報告

WGの開催状況

- 2021年
- 第1回 12月7日
- 代表企業の選定
 - データプラットフォームWGの概要
- 2022年
- 第2回 1月20日
- 地域情報化アドバイザーご紹介
 - 各社様サービス/データ利活用紹介
 - 四日市版データプラットフォームのあるべき姿の検討
- 第3回 2月21日
- 四日市版データプラットフォームのコンセプト共有
 - 実行計画に記載するサービス案
- 第4回 5月25日
- 令和4年度の検討方針共有
 - 勉強会：情報銀行について
- 第5回 9月15日
- 各種進捗報告
 - データプラットフォームWG 今後の進め方（新スキーム）共有
- 第6回 11月24日
- 各種進捗報告
 - WSの開催について
- 2023年
- 第7回 1月17日 **データプラットフォームWG主催 ワークショップ**
- 各種進捗報告
 - WSにて収集した意見の整理
- 第7回 3月8日
- 各種進捗報告
 - WSにて収集した意見の整理

データプラットフォームWG 実施報告

中央通り再編について考える公民学連携ワークショップ

中央通りを含む中心市街地の課題やニーズについての意見交換。

学生や地域企業の皆さまの意見を中央通りの再編およびスマート化に反映させることを目的とする。

実施日時	2023年1月17日(火) 14:00~16:30 [150分]		
実施場所	本町プラザ 1階ホール		
出席者	参加者	WG会員企業	7人
		四日市大学	教員2人 学生5人
		エリアプラットフォーム事務局	1人
	事務局	日建設計総合研究所	2人
		シー・ティー・ワイ	3人
		統括ファシリテーター	武蔵大学 庄司昌彦先生
	オブザーバー	四日市市	8人
	傍聴	WG会員企業	4人
		計33人	
報道機関	NHK津放送局／中日新聞四日市支局／Youよっかいち／CTY		
その他	1/11 記者発表		



WSのアウトプット

- ・参加者が考える中央通りの「今の姿」
⇒94の意見
- ・参加者が中央通りで「実現したいこと」
⇒94の意見

WGではアウトプットを
エリア毎に整理して共有

データプラットフォームWG 実施報告

中央通り再編について考える公民学連携ワークショップ〈参考資料〉

中日新聞 北勢版
2023年1月18日朝刊掲載

「若者集う四日市らしい場所を」
中央通り再開発 産学官が意見交換

四日市市の中央通り周辺
の再開発に向け、大学生や
関係企業、行政の各立場か
らまちの将来を語る意見
交換会が十七日、同市本町
の本町プラザで開かれた。

市は、情報通信技術（I
CT）を活用したまちづく
りを進めようと「四日市ス
マートリノベーション・コ
ア推進協議会」を二〇二二年八
月に設立、同協議会傘下の
「データプラットフォーム」が、
ワークショップが、
まちなかのさまざまな事象

参加者は四組に分かれ、
中心市街地の現状や課題を
考えた。「空き店舗が多い」
「夜の治安が悪い」
「若者集まる店がない」
「コンビニエントの夜閉店を
減らしたい」などの意見が
あふれた。

中心市街地の現状や課題を
考えた。「空き店舗が多い」
「夜の治安が悪い」
「若者集まる店がない」
「コンビニエントの夜閉店を
減らしたい」などの意見が
あふれた。

四日市の将来像を考える参加者た
ち。四日市市本町の本町プラザで

四日市市大規模情報学第二

「いろんな立場の方たちと
意見を交わすことで課題を
具体化でき、とても貴重な
体験となった。にぎわいを
つくるため、まずは若者が
集う四日市らしいスポット
ができてほしい」と話して
いた。

（片山さゆみ）

全国的自動車関連会社の
組合が加盟する自動車総連
は十三日、川越町の社会福
祉法人「よつば会」に、車
いすのまま乗車できる軽ワ
ゴン車一台を寄贈した。

贈られたのは、ダイハツ
「タントスローパー」。後
部に折り畳み式のスローパ
ーがついており、車いすのま
ま乗り降りができる。同組
連は毎年、各地の福祉施設

市内で障害者向けの就労
支援事業所やグループホー
ムなどを営む同法人では、
利用者約百人のうち、十五
人は車いすで生活して
いる。同様の車両を数台所
有しており、利用者の送迎
に使っているが、一部車両

タントスローパーの寄贈を受けた石
川理事長（前列中央）＝川越町集
新田のワークセンターよつばの里で

[四日市市の中心どうあるべき？ ワークショップで意見交
わす | YOUよっかいち \(you-yokkaichi.com\)](#)

You Yokkaichi ホーム ニュース

ホーム > ニュース > 総合 > 四日市市の中心どうあるべき...

ニュース 総合

四日市市の中心どうあるべき？ ワ ークショップで意見交わす

2023年1月17日

三重県四日市市の中央通り再編について意見を交わすワークショップが17日、本町プラザであつた。地域の企業、団体の関係者、大学生らが中心市街地の将来の姿についてアイデアを出し合った。大学生が参加したこともあり、スポーツやファッションなど、若者の動向に焦点をあてた意見も交わされた。【中心市街地について意見を交わしたワークショップ＝四日市市本町】

開催されたのは「中央通り再編について考える産学官連携ワークショップ」。四日市市の市街地再開発計画に合わせ、スマートシティ化への計画検討や推進を目的に立ち上げた「四日市スマートリノベーション・コア推進協議会」の傘下のデータプラットフォームWGの主催。四日市大学や事務局を務める日建設計総合研究所、シー・ティー・ワイや、市の関係部署から計約40人が集まった。

ワークショップは約5人ずつの4グループに分かれ、まず、中心市街地の今の姿について意見を出し合い、続いて、その将来の姿について意見を出し合った。それぞれの議論のあとでグループの代表者がまとめを発表し、会場全体で議論の内容を共有した。（グループに分かれてのディスカッション）

データプラットフォームWG 実施報告

中央通り再編について考える公民学連携ワークショップ〈参考資料〉

NHKニュース

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/tsu/20230117/3070009683.html>

NHK NEWS WEB

2023年（令和5）

三重 NEWS WEB

四日市「中央通り」の将来像探る 学生などがワークショップ

01月17日 17時38分



再開発が進む四日市中心部の「中央通り」の将来像について、学生や地元企業の担当者などが意見を交わすワークショップが開かれました。

このワークショップは、四日市中心部にあり、近鉄とJRの駅の間を結ぶ中央通りの再開発につい

て地域の人たちから幅広く意見を聞こうと市などが開いたものです。

中央通りでは3つに分かれているバス乗り場を集約するバスターミナルの整備や、中央分離帯や歩道などを活用し飲食や物販の出店を促すことなどが計画されていて、ワークショップでは学生や地元企業の担当者など20人が4つのグループに分かれて現状の課題や解決策について話し合いました。

このうち、近鉄とJRの駅が離れている点について、中央通りのうち、店舗がそれほど多くないJR側に物販などの集中的な出店を促せば活性化につながるという意見が出されていました。

また、JRの駅のすぐ東側にある四日市港へのアクセスをよくすることで、中心部をもっと魅力ある場所として整備できるのではないかといい意見もありました。

参加した女子大学生は「若者が集まるような場所に再開発できれば四日市をもっと活力あるまちにできると思います」と話していました。

市では17日に出た意見を今後の再開発計画の参考にするとしています。

シー・ティー・ワイ「ケーブルNews」

2023年1月18日放送



ケーブルNews
中央通り再編
産学官連携ワークショップ
本町プラザ
四日市市/17日

データプラットフォームWG 実施報告

第7回 2023年3月8日

第1部

新会員のご紹介

- ・富士通Japan様のご紹介

【報告】スマートインフラ検討状況

・

【報告】1/17ワークショップ

- ・WSのアウトプットを共有
- ・主なアイデアについて、各社の「既存の取組で連携可能なこと」「保有の技術やノウハウ」について発表、意見交換を行った
- ・以後、各社意見を事務局として整理し、必要に応じてマッチング等を行う
- ・MaaSアプリはモビリティWGでも検討中の為、本WGとの連携および分界点を整理する必要がある
- ・【庄司氏コメント】
 - ーWSは劇的な答えや結果が出るものではないが、継続していくことで得られる参加者のリレーション、信頼関係、仲間意識が重要
 - ー一度で終わらせるのではなく
 - ーメンバー、テーマ、やり方を固定させず、フィールドワーク等も取り入れながら実施してほしい

その他

- ・四日市市・CTYからの案内「YOKKAICHI Great Expo（3/31開催）」について

第2部

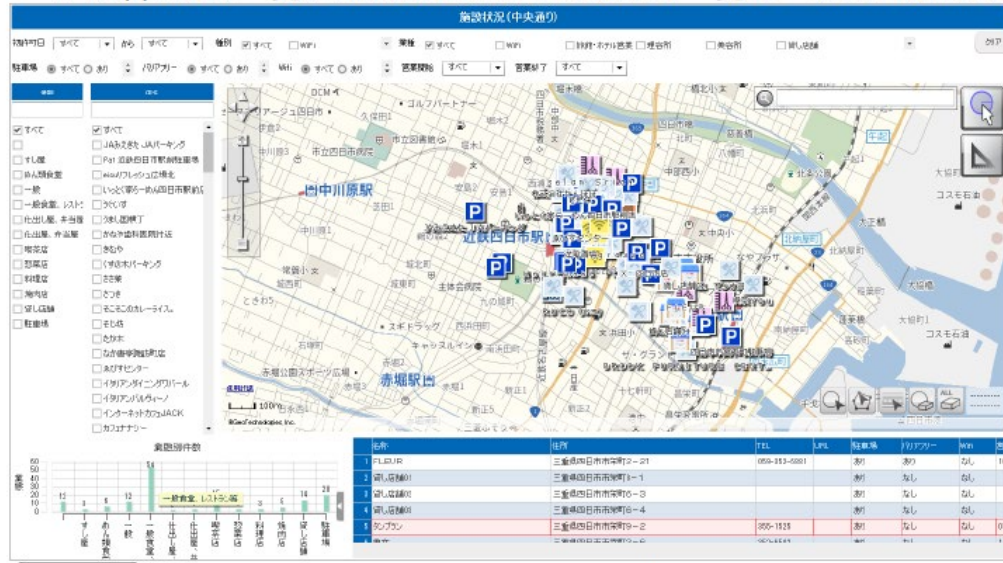
【報告】データプラットフォーム構築状況

- ・デモンストレーション
 - ーDPF内のデータを可視化するダッシュボード画面について紹介
- ・【庄司氏コメント】
 - ーデータプラットフォームをどのように使っていくかが重要
(画像：富士通Japan様説明資料より一部抜粋)

②現状分析（オープンデータ：WiFi・店舗情報）

FUJITSU

■ 「営業許可施設一覧」「公衆無線LANアクセスポイント一覧」データから各施設の分布を把握



- ◆公衆無線LAN(WiFi)
 - ・近鉄四日市駅：17台
 - ・JR四日市駅：1台
- ◆飲食店
 - ・近鉄四日市駅周辺
- ◆理容/美容
 - ・理容所：12件
 - ・美容所：105件
 - ⇒ 女性向けが8.8倍多い

第7回 2023年3月8日

データプラットフォームWG 実施報告

第1回

2021年12月7日

代表企業の選定

- ・代表企業を互選により選出（株シー・ティー・ワイ）

データプラットフォーム WG の概要

- ・データプラットフォーム構築に向けた情報収集整理・体制について検討

データプラットフォームとは

- ・データプラットフォームに必要なサービス、データ、体制、補助事業、他市町事例について検討

スマートインフラの整備について

- ・中央通りで実装するスマートインフラの検討

地域情報化アドバイザーについて

- ・総務省の地域情報化アドバイザー派遣制度を活用し学識者を招聘することを合意

第2回

2022年1月20日

地域情報化アドバイザーご紹介

- ・武蔵大学 庄司昌彦氏

各社様サービス／データ利活用紹介

四日市版データプラットフォームのあるべき姿の検討

- ・中央通り再編に向けた検討会議との連携について共有

主な導入事業者紹介／他市町事例／補助金事例

- ・システムメーカー、総務省ヒアリング結果等共有

四日市と先進市の現状を踏まえた四日市版データプラットフォーム（案）

- ・四日市版データプラットフォームのあり方について意識合わせ

データプラットフォームWG 実施報告

第3回 2022年2月21日

四日市版データプラットフォームのコンセプト

- ・「段階的に拡張」「官民連携の運営も見据える」「持続的な運営体制」「市民／来訪者が期待感」という、データプラットフォームの望ましい姿を確認

ロードマップ

- ・令和4年度以降の進め方のイメージを確認

スマート・インフラ

- ・各種計測機器などのスマート・インフラについて、実行計画では機器の種類/用途/概略設置位置について記載し、継続的に計画を進めることを確認
- ・「ウォークابل」「回遊性」実現のため、スマート化のシンボリック施策として打ち出すことを提案

実行計画に記載するサービス案

- ・実行計画に記載して、スマートシティ化に向けた取り組みとして実現を目指すサービスの概要を確認

データプラットフォームの必要機能

- ・アセット、AI分析、クラウド基盤、デバイス、APIなど、データプラットフォームの概念的な構造について確認

トライアル

- ・データプラットフォームを利活用する実験を行い、実績を積み上げながら構築・運用にかすこととし、各社からのトライアル内容の提案を共有

調査報告

- ・連携可能データ、他市町ヒアリング、スマートシティ関連補助金などの調査状況を共有

データサーベイ

- ・データサーベイの集計状況を共有

情報銀行

- ・情報銀行等の情報を共有

データプラットフォームWG 実施報告

第4回	2022年5月25日	<p>令和3年度のWG振り返り</p> <ul style="list-style-type: none">・コンセプト/ロードマップ等の振り返り <p>令和4年度の検討方針共有</p> <ul style="list-style-type: none">・①サービスの拡充（データ利活用方法の検討）②各種検討状況の報告③勉強会 <p>四日市市データプラットフォームの構築状況共有</p> <ul style="list-style-type: none">・補助金・交付金の活用について申請状況を共有 <p>スマート街路灯の検討状況共有</p> <ul style="list-style-type: none">・実行計画に記載されたスマートサービスの具体化に向け、センサー類について検討 <p>コンセプト/ロードマップ等の振り返り</p> <p>勉強会：情報銀行について</p> <ul style="list-style-type: none">・中部電力様から情報銀行についてご説明
第5回	2022年9月15日	<p>【報告】 アンケート結果</p> <p>【報告】 データプラットフォーム構築状況</p> <ul style="list-style-type: none">・第4回WGにて報告したデジタル田園都市国家構想交付金の申請について審査結果を報告・データプラットフォーム構築事業者に富士通Japan株式会社を選定 <p>【報告】 スマート・インフラ検討状況</p> <p>【報告】 社会実験検討状況</p> <p>データプラットフォームWG 今後の進め方（新スキーム）共有</p> <ul style="list-style-type: none">・WGの活発化を目指して、課題を共有検討した結果、具体的な意見交換が進まないといった課題があり、その解決のため 新スキームを考案、会員から賛同を得た・新スキームを実現するための手段として、会員からワークショップを開催するといった発案があった <p>【勉強会】 庄司昌彦先生</p>
第6回	2022年11月24日	<p>【報告】 データプラットフォーム構築状況</p> <p>【報告】 社会実験 データサーベイ分析まとめ状況</p> <p>【報告】 スマート・インフラ 検討状況</p> <p>ワークショップについて</p> <ul style="list-style-type: none">・開催概要を共有

モビリティWG 実施報告

第4回 令和4年7月20日 (水)

- **分科会設置**
 - ・ 「次世代モビリティ分科会」「データ連携・MaaS分科会」の設置
 - ・ 「スマート・バスタ分科会」に関しては、状況が明確に見えてくる段階で設置検討
- **昨年度の実証実験の結果について**
 - ・ 令和3年3月に実施した自動運転や次世代モビリティの試乗実験の結果について共有
- **秋の実証実験について**
 - ・ 令和4年9月から実施されるモビリティ実証実験に関しての内容報告を実施

第5回 令和4年9月15日 (木)

- **賑わい実証実験に関して**
 - ・ 9月22日から実施される賑わい実証実験、モビリティ実証実験に関する内容の共有
- **各分科会に関して**
 - **第1回データ連携・MaaS分科会**
 - ・ 「次世代モビリティ分科会」「MaaS分科会」に関するテーマ設定
 - ・ 四日市版MaaS創出に向けた参考事例紹介
 - ・ 四日市版MaaSに関する意見交換

令和4年11月17日 (木)

- **前橋市MaaS実証実験「MaeMaaS」について
ヒアリングと意見交換**
 - ・ 四日市市にてMaaS創出に向けて先行的に取り組みを実施している前橋市様にヒアリングを実施

※前橋市様も四日市スマートリージョン・コア推進協議会の取組に興味有。今後も定期的な情報交換を希望とのこと。

令和4年11月21日 (月)

- **第1回次世代モビリティ分科会**
 - ・ モビリティ実証実験の報告
 - ・ 次世代モビリティに関する各社情報共有と意見交換
- **第2回データ連携・MaaS分科会**
 - ・ モビリティ実証実験の報告
 - ・ 前橋市様 (Mae MaaS)へのヒアリング報告
 - ・ 各社MaaS取組に関する情報共有と意見交換

*令和5年度以降に向けた次世代モビリティやMaaS Applicationの在り方や進め方に関する議論を開始

令和5年1月18日 (水)

- **第3回データ連携・MaaS分科会**
 - ・ 各社から四日市版MaaSに関する提案がなされ、それを踏まえたスケジュール、システム・サービス案、及び財源確保を検討することとなった

モビリティWG 実施報告

第6回 令和5年2月17日（金）モビリティWG

■ 四日市版MaaSの仕様素案・実現スキーム

- ・ 四日市版MaaS実現に向け「①仕様案」、「②スケジュール」、「③予算（補助金）」に関する議論をワーキングメンバーと議論

①仕様案に関して

- ・ 今までの議論を総括し、MaaS プラットフォームの草案とサービス構成イメージをワーキングメンバーと共有

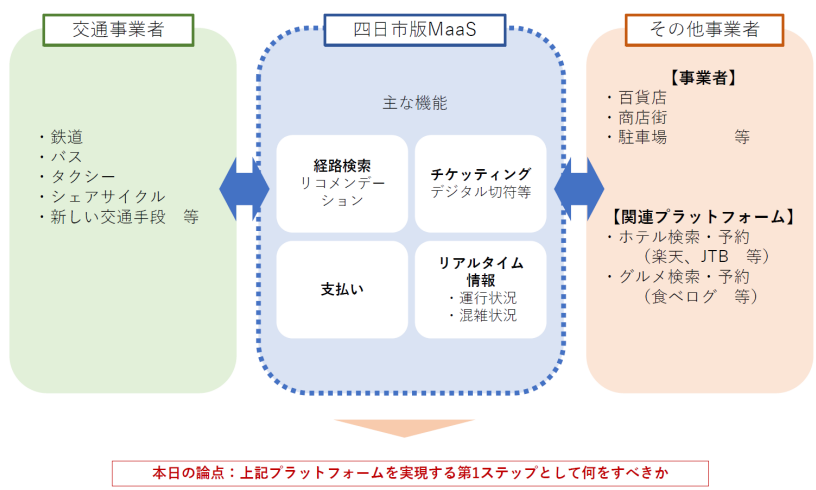
市のポテンシャルと課題

- ・ 伊勢に向かう旧東海道沿いの交通の要衝
 - ・ 周辺の観光スポット（温泉、万古焼、夜景等）
 - ・ 一方で、ビジネス、観光地としての魅力不足「通過するだけ」のまち
- ・ 近鉄・JR両駅が離れて存在
 - ・ 中心市街地・商店街の衰退、空き家・店舗増加
 - ・ バスタ、中央通りの再編
- ・ 車中心の社会

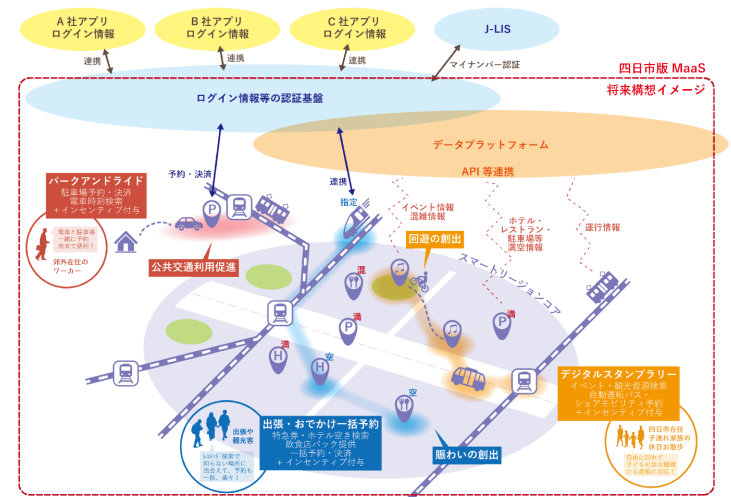
事務局補佐（NSRI）試案

- ◆他業種（飲食、店舗、ホテル等）との連携による回遊性、拠点性向上
 - ・ 中心市街地を目的地に「来てもらえる街」とするため、交通事業者に限らず、多様な主体を巻き込み回遊性・拠点性の向上を検討 ※その中で、まずはできるところからスモールスタートしていく想定
- ◆新しく生まれ変わるバスタ、中央通りを中心とした歩きやすいまちへ
 - ・ 両駅間を定期的かつ柔軟に行き来できるシステムの構築
- ◆移動だけではなく、待ち時間やプロセスも楽しめるまちへ
 - ・ 車利用と共存し、駐車場も含めたシステムを検討
 - ・ 各交通事業者が持っている資源（サービス）を連携し、横ぐしをさせるような内容を検討し、移動も含めた過程を楽しむシステムを検討

【目指すべき姿】 四日市における交通事業者と関連企業群をつなぐプラットフォーム



【将来構想案】 四日市版MaaSのサービス・構成イメージ（案）



モビリティWG 実施報告

第6回 令和5年2月17日（金）モビリティWG

■ 四日市版MaaSの仕様素案・実現スキーム

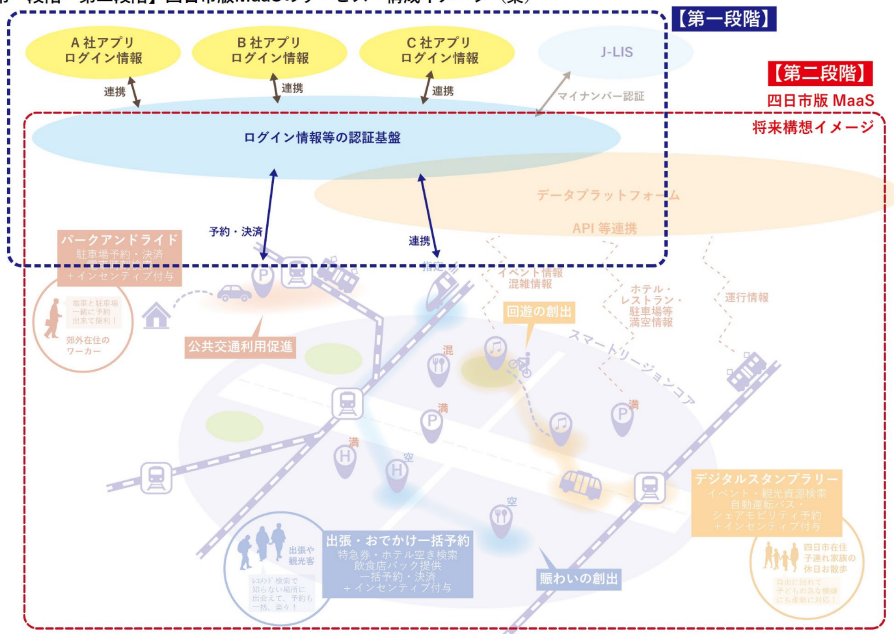
- ・ 四日市版MaaS実現に向け「①仕様案」、「②スケジュール」、「③予算（補助金）」に関する議論をWGメンバーと議論

①仕様案に関して

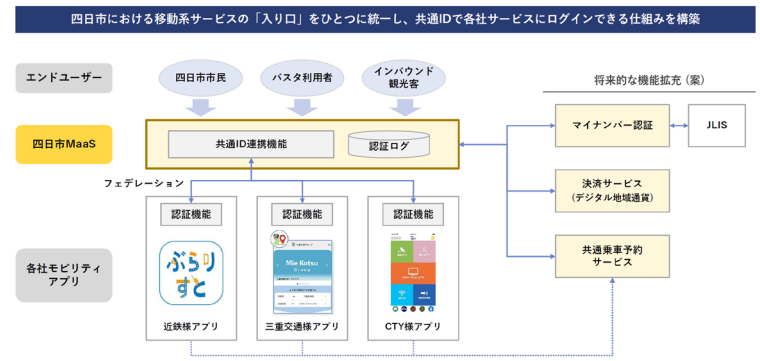
- ・ 既にWGメンバーにて運用しているアプリが存在している事もあり、「共通ID」を活用して各社アプリを第1段階でつなぐ取り組みを実施後に将来構想のイメージを創出していくプロセス提案を実施（FIXER様からも共通IDを利用した仕組み構築提案有）

- * 「サービス設計」に基づいたアプリケーション設計を実施しなければ将来的な持続性が得られないという意見もあり、「構想イメージを分割」した形で段階的にMaaS創出を構築していく方向で検討中

【第一段階・第二段階】四日市版MaaSのサービス・構成イメージ（案）



四日市MaaSのサービス実装の進め方について（FIXER案）



モビリティWG 実施報告

第6回 令和5年2月17日（金）モビリティWG

②スケジュールに関して

- ・令和4年度末を目標として概要案の認識共有を関係企業様と実施
- ・令和5年度（FY23）中に仕様案の策定を実施し、令和6年度にアプリケーションの開発着手を実施
- ・開発に必要な予算に関しては、令和5年度中にいくつかある候補内にて検討を進めて獲得していく

* ①における議論にて、一度に全ての仕様を盛り込んだアプリを開発するにはリスクがある為、令和5年度の実証実験を通して一部の機能から実施検証していく「スモールスタート」で実施していく方向性で実施していく事を検討中

四日市版MaaS 構築スケジュール案

項目	担当	FY22 Q4			FY23 Q1			FY23 Q2			FY23 Q3			FY23 Q4			FY24 Q1			FY24 Q2			FY24 Q3			FY24 Q4		
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①仕様案協議	WG	★	★	★																								
②省庁補助事業情報収集	WG		★	★	★																							
③役割分担協議	WG				★	★																						
④仕様策定/仕様書作成	Macnica						★	★	★	★	★	★																
⑤予算申請/補助事業申請	Macnica					★	★	★	★	★																		
⑥実行計画書への反映	NSRI												★	★	★													
⑦開発	TBD																★	★	★	★	★	★						
⑧検証/修正	TBD																		★	★	★	★	★	★				
⑨実証実験での一部運用（検証含む）	WG																						★	★	★			
⑩運用レビューと改善仕様議論	TBD																									★	★	★

第6回 令和5年2月17日（金）モビリティWG

③「予算（補助金）」に関して

- ・令和5年度に以下補助金メニュー案の共有と実現可能性に関する議論を実施
- ・「都市・地域交通戦略推進事業」が検討しているテーマに近い為、候補として検討を進めていく
- ・その他補助金に関しても実施するテーマに合わせて申請検討を進めるが、スケジュールと条件面で厳しい可能性有

* ①②でも記載した通り、令和5年度実証実験を通して実施内容を限定する場合、補助金以外での予算（実証実験予算等）や企業持ち出しによる取り組みで進めていく可能性有

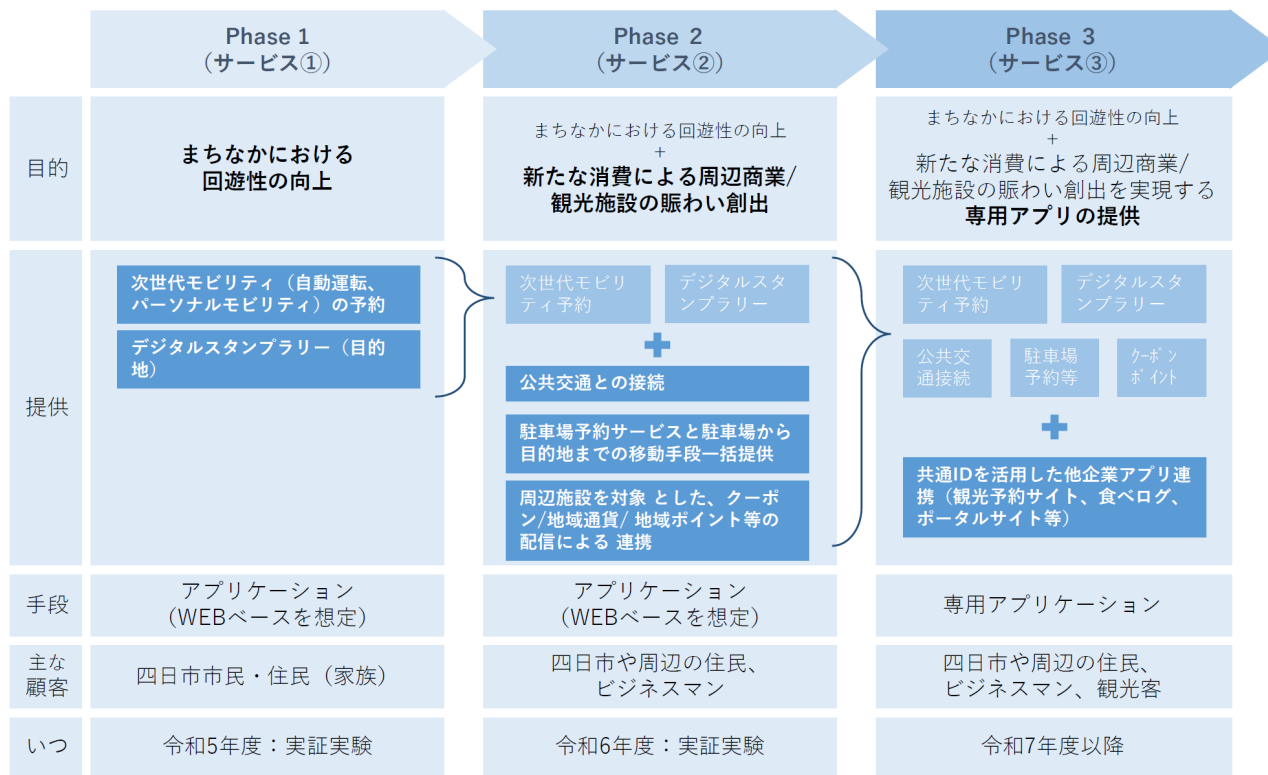
MaaSに関連する補助金等のメニュー想定（案）

事業名	主管	金額想定	今後の可能性
スマートシティ実装化支援事業	国土交通省	1/2補助 2,000万円 or 5,000万円	R5の公募締切が近いため、 R6申請を目指す想定
都市・地域交通戦略推進事業	国土交通省	1/2補助	R6予算化のためには、来年度月上旬頃までに 内容を市と協議する必要あり
日本版MaaS推進・支援事業	国土交通省	1/2補助 全体予算の中で配分	各年度ごとにテーマあり R4は「面的な利便性向上・高度化につながる 取組への支援」として6事業選定
デジタル田園都市国家構想交付金 (デジタル実装タイプ)	デジタル庁	優良モデル導入支援型 【TYPE1】 1/2補助 上限1億円	「他市を参考にしつつ迅速に実装」する としてTYPE1へ応募する想定 ※継続的にTYPE2,3の マイナンバー活用を見込むことを検討
地域新MaaS創出推進事業	経済産業省	2,000万円上限 代表団体と委託契約	委託契約となるため、 市として継続運用する場合の取扱が難点

モビリティWG 実施報告

令和5年3月16日（木）第4回データ連携・MaaS分科会

- 前回のモビリティWGにおけるMaaS創出における指摘や課題を再度協議し、下記3つのPhaseに分けて段階的に進めていく事で参加メンバーからの同意を得る事ができた
- (前回) 機能面によるアプローチから、利用者（顧客）の視点と四日市のありたい姿からサービス設計を実施



【検討課題】

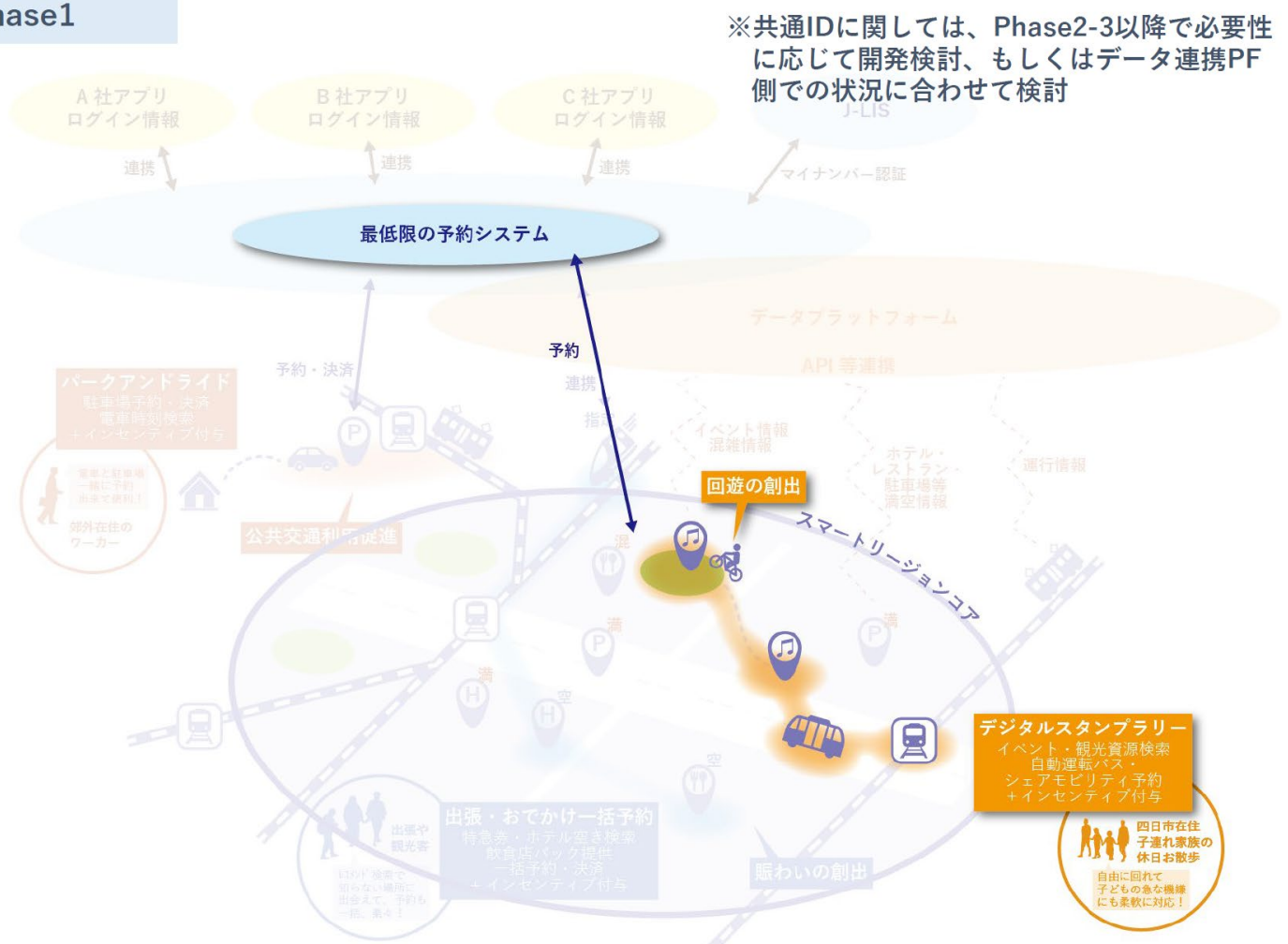
- * 第2～3Phaseで運営・開発を誰がやっていくのか？
- * Phase2に関して四日市観光協会との連携検討（シティプロモーション部？）

モビリティWG 実施報告

令和5年3月16日（木）第4回データ連携・MaaS分科会

(参考) 各Phaseのイメージ

Phase1



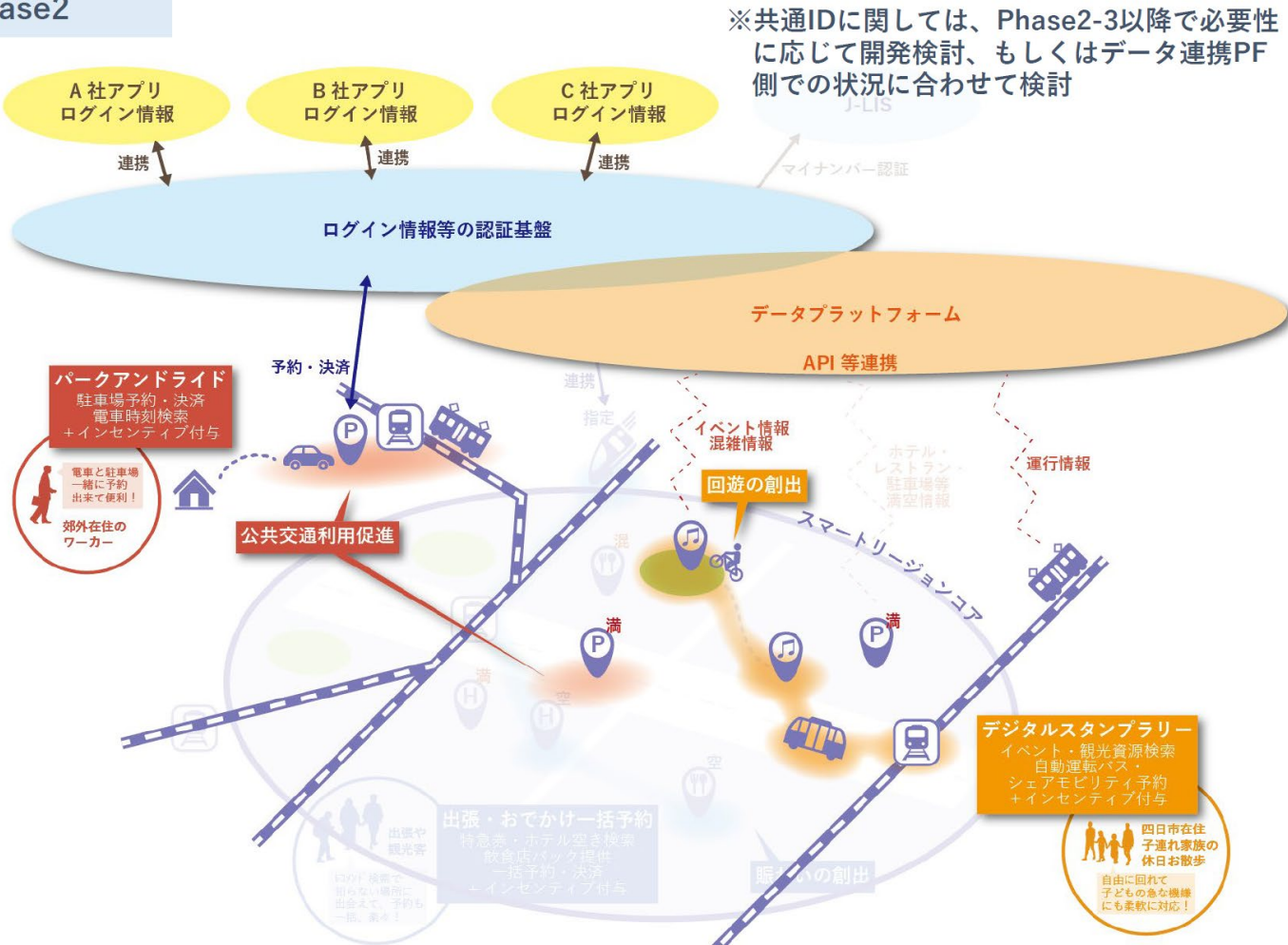
※共通IDに関しては、Phase2-3以降で必要性に応じて開発検討、もしくはデータ連携PF側での状況に合わせて検討

モビリティWG 実施報告

令和5年3月16日（木）第4回データ連携・MaaS分科会

(参考) 各Phaseのイメージ

Phase2



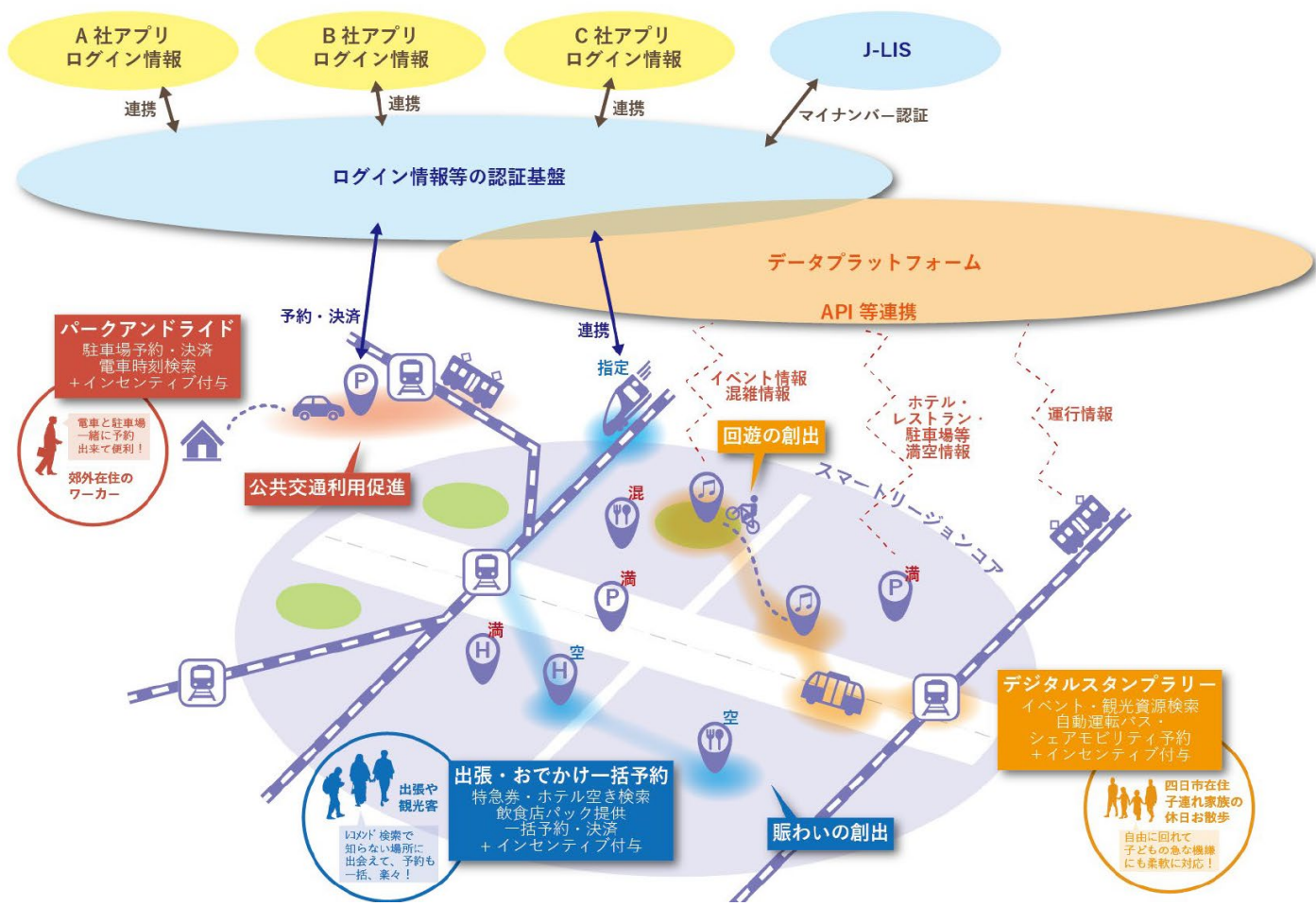
※共通IDに関しては、Phase2-3以降で必要性に応じて開発検討、もしくはデータ連携PF側での状況に合わせて検討

モビリティWG 実施報告

令和5年3月16日（木）第4回データ連携・MaaS分科会

(参考) 各Phaseのイメージ

Phase3



CONTENTS

はじめに	・・・	2	Ⅲ. 今後実行計画に反映する予定の検討内容	・・・	12
実行計画の概要	・・・	3	・ 地区の脱炭素化		
Ⅰ. 令和4（2022）年度の主要トピック	・・・	4	・ 中心市街地の人流測定によるにぎわい創出		
・ 賑わい創出社会実験と協力			・ 中心市街地まるごと情報発信		
・ データプラットフォームの構築を開始			・ 燃料電池を用いた水素の利活用		
・ スマート・インフラの発注に向けた検討を開始			Ⅳ. 次年度の進め方	・・・	14
Ⅱ. 12の取り組み内容に応じた進捗状況の詳細	・・・	6	Ⅴ. 関係者一覧	・・・	16
01 ウォークابل・ネットワーク、交通結節拠点としてのスマート・バスタの整備					
02 待ち時間や移動時間を楽しめるモビリティの導入					
03 ウォークابل+ウェルネス環境の展開					
04 パブリックスペースの可能性最大化					
05 インタラクティブなストリートファニチャー					
06 災害に強い中央通り					
07 人流誘導による商店街活性化					
08 スマート図書館					
09 メタバース（デジタルツイン）					
10 データプラットフォーム					
11 3D都市モデル					
12 スマート・インフラ					

はじめに

四日市市におけるスマート化に向けた取り組みは2020（令和2）年度の四日市市職員によるワークショップから始まり、2021（令和3）年度には公民連携による「四日市スマートリージョン・コア推進協議会」が設立されて本格的な検討が行われました。この推進協議会では「四日市市都市再生協議会」や「中央通り再編関係者調整会議」などと連携しつつ議論を重ね、2022（令和4）年3月に『四日市スマートリージョン・コア実行計画』を作成しました。この実行計画をロードマップとして、中央通りの再編やバスターミナルの整備が完了する予定の2026（令和8）年度までにスマート化の各種取り組みを実装することを目標としています。

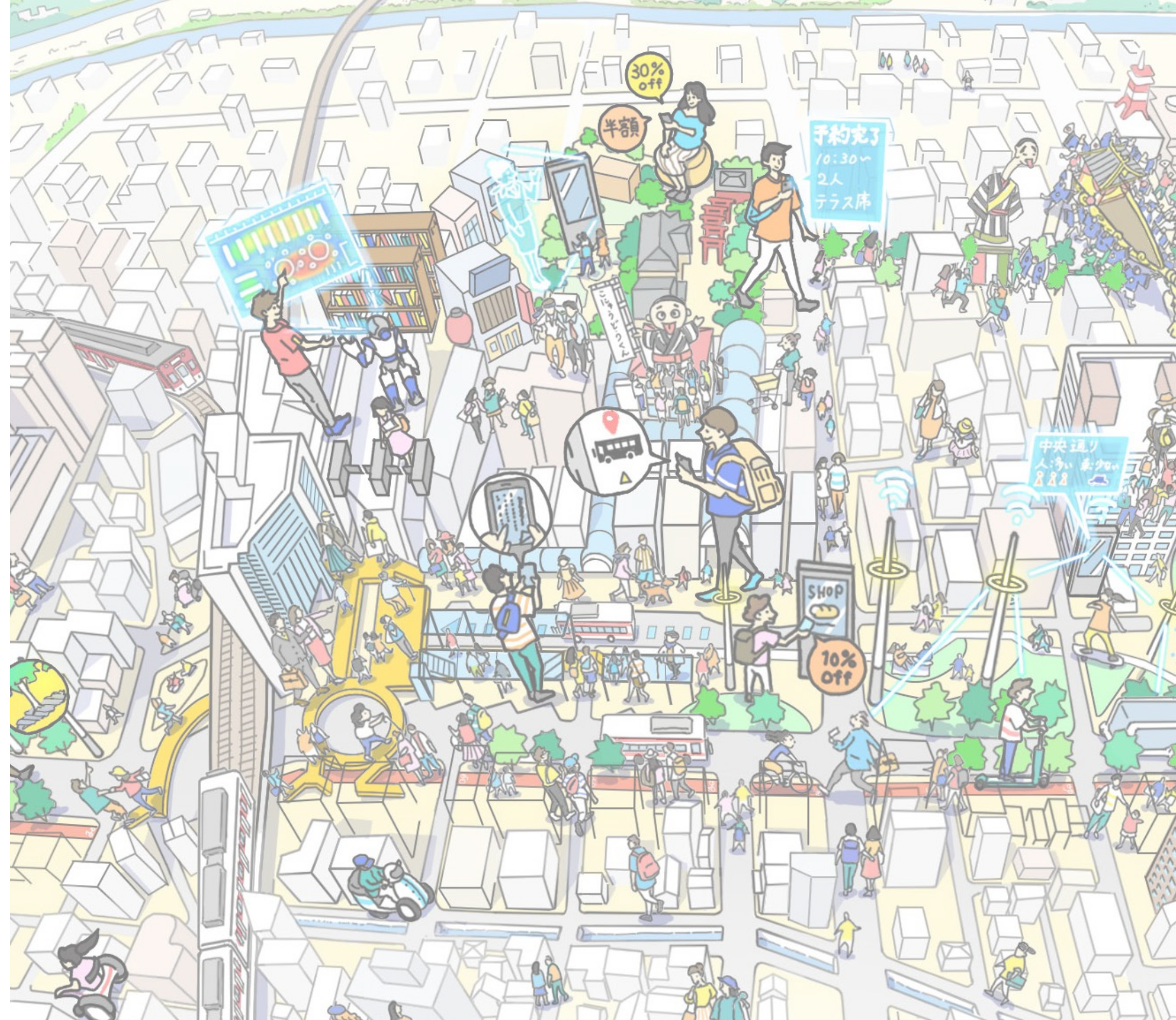
本資料は、前述の実行計画のうち2022（令和4）年度の活動成果や進捗状況をとりとまとめることを目的としています。初年度である今年度は、スマート化の各種取り組みを推進するために無くてはならない土台となるデータ通信環境の構築に向けた調整、社会実験の場を活用したイベントの実施や来街者に係るデータの試験的な計測などのトライアルを実施したことが主な成果であると考えられます。

具体的には、将来的にスマート化に係る膨大なデータを集約するためのデータプラットフォームについて、四日市市が主体となって事業者を選定し構築しました。これにより、既存のオープンデータや今後の試験的な取り組みのデータを集約し、効率的なスマート化に向けた取り組みを実施することが可能となります。

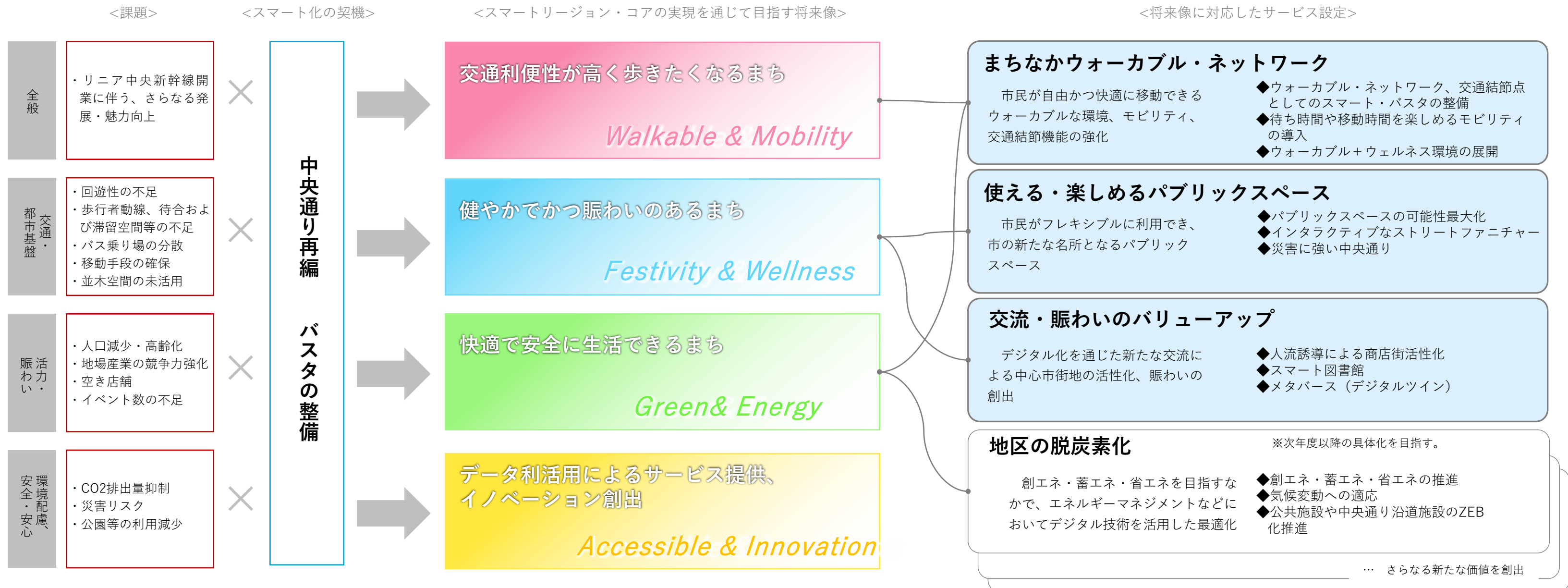
また、2022年（令和4年）9～10月には自動運転車両等の実証実験「まちなかモビリティ」と並行して賑わい創出社会実験「はじまりのいち」を開催し、スケートボードパークや屋外での店舗出店などのイベント運営をサポートするとともに、社会実験に参加された方々の人数やイベント実施場所の温湿度などを各種センサーを設置して計測して検証結果を取りまとめました。

さらに、2023（令和5）年度には中央通り再編の先行整備区間の工事が進むことから、屋外に設置される街路灯などにカメラやセンサーを設置して継続的にデータを取得するための「スマート・インフラ」についても、早々の事業者選定を目指して各種仕様のとりまとめを開始しています。

これらの成果を踏まえつつ、また2023（令和5）年度も取り組みを継続していきたいと考えています。



実行計画の概要



I. 2022年度の主要トピック

- 賑わい創出社会実験と協力
- データプラットフォームの構築を開始
- スマート・インフラの発注に向けた検討を開始

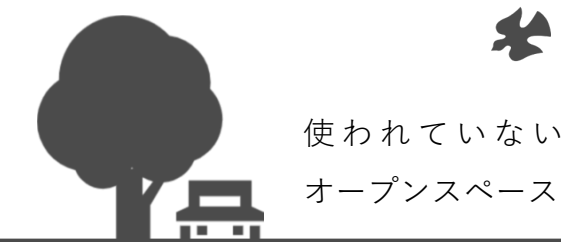


賑わい創出社会実験におけるスマート化の試行

2022（令和4）年9月22日から10月16日に、中央通りにおいて賑わい創出社会実験「はじまりのいち」が実施された。「はじまりのいち」では、国道1号から三滝通りを対象区間として、イベントエリア、カルチャー&チャレンジエリア、ストリートエリア、パークエリアの4つの会場を設け、飲食店ブースや物販のブースの出店、スケートボードパークの設置、ライブイベント等が行われた。

賑わい創出社会実験と並行して、自動運転をはじめとする新しいモビリティ体験や、各種センサーを用いた会場の利用状況や環境情報のデータ取得・分析・可視化、デリバリーサービスの検討等、ICT技術を用いた中央通りのスマート化に向けた様々な実験を実施した。

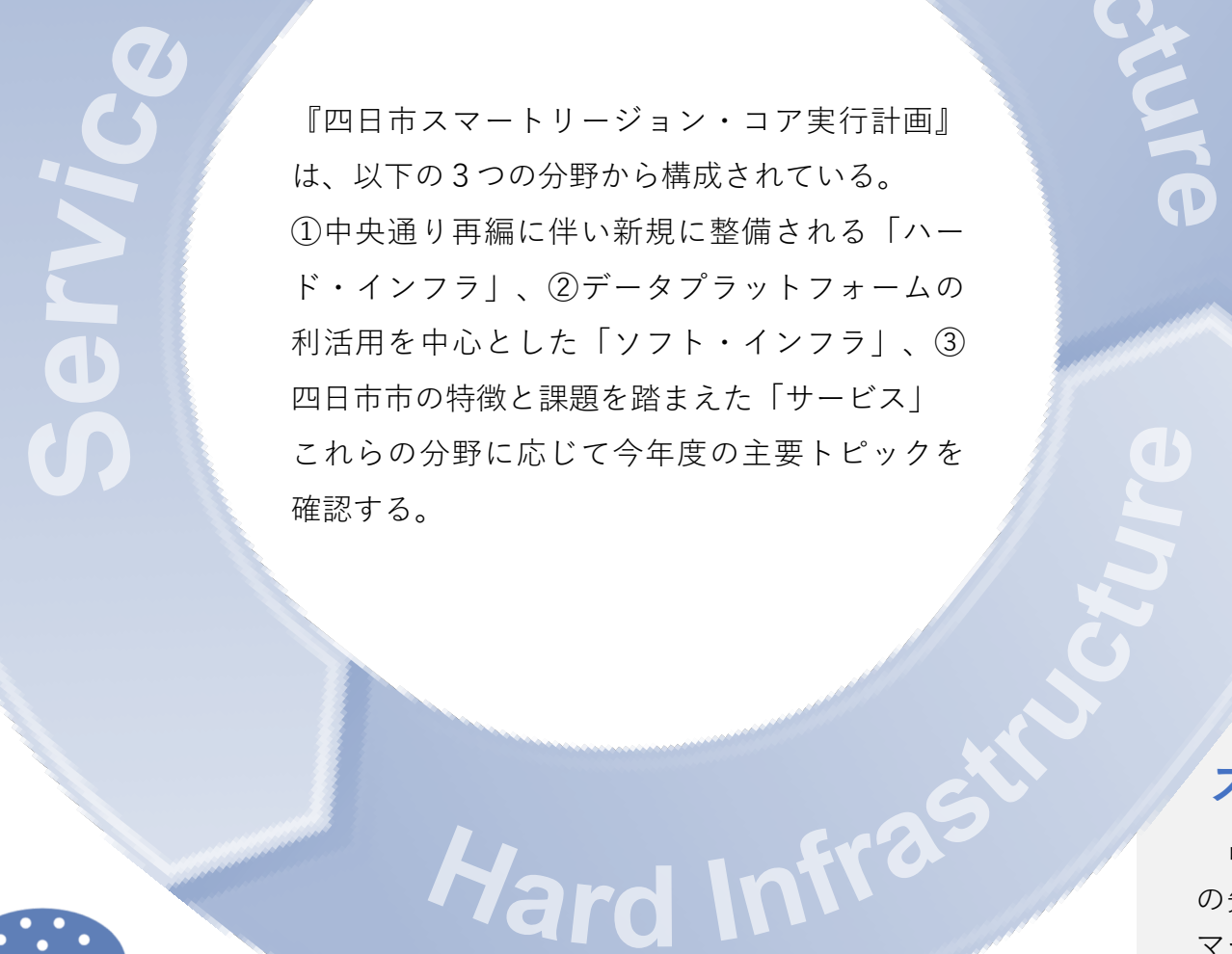
実験から得られるノウハウを蓄積し、次年度以降の具体的なサービスの検討につなげる。



『四日市スマートリージョン・コア実行計画』は、以下の3つの分野から構成されている。

- ①中央通り再編に伴い新規に整備される「ハード・インフラ」、
- ②データプラットフォームの利活用を中心とした「ソフト・インフラ」、
- ③四日市市の特徴と課題を踏まえた「サービス」

これらの分野に応じて今年度の主要トピックを確認する。

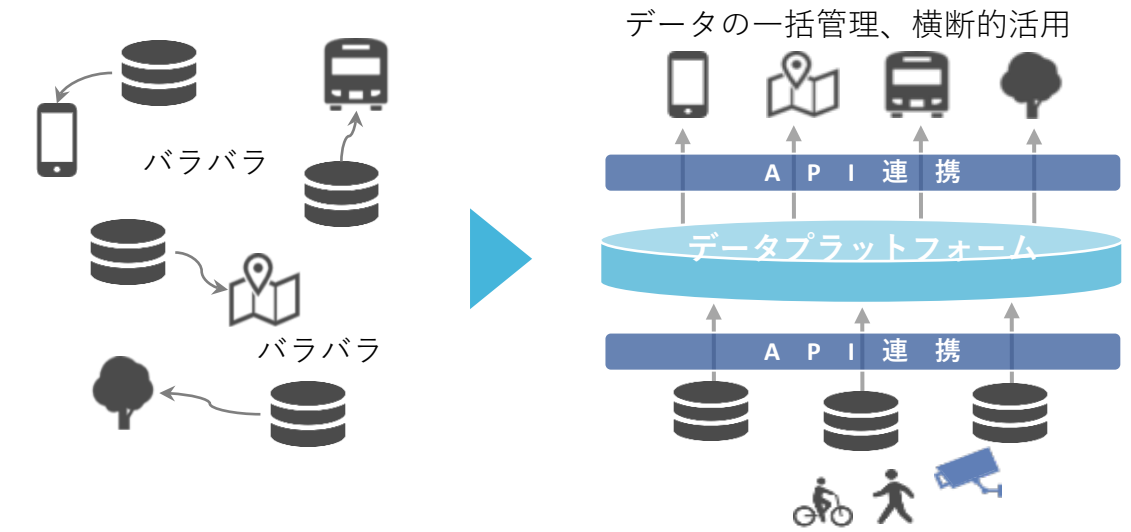


データプラットフォームの構築を開始

スマート化に向けた様々なサービスを実現するため、四日市市は公民学で連携して必要なデータを集約するためのデータプラットフォームの構築に着手した。構築作業は委託先である富士通Japan(株)と協力して進めており、2023（令和5）年3月から試験運用が開始されている。

市や民間企業などの各主体ごとにバラバラだったデータを一カ所に集約することで、互いにデータを相互参照することが可能であり、市民に対しても容易にアクセス可能な環境が整備されている。

そのため、データの横断的な活用が可能となることから、市としては政策立案に役立てることが可能となり、民間企業等としては新たな事業展開やサービス開発に活用することが可能となる。



スマート・インフラによるリアルなデータの取得

スマート・インフラの発注に向けた検討を開始

中央通り再編においては、2023（令和5）年度から近鉄四日市駅西側の先行整備区間の歩道部工事に着手する予定であり、工事に合わせてスマートポールなどへカメラやセンサー等を設置するスマート・インフラの整備を進める予定となっている。

そのため、スマート・インフラを整備する具体的な事業者の選定に向け、実績のある企業へのヒアリングなどを行いながら、2023（令和5）年度初めを目指したプロポーザルの実施準備を進めている。

スマート・インフラでは、中心市街地における市民や観光客の交通量や屋外空間の観光情報等を日常的に計測することでリアルなデータを取得し、新たなサービス展開や既存サービスの高質化を目指す。なお、取得したデータはデータプラットフォームと連携する。



Ⅱ. 12の取り組み内容に応じた 進捗状況の詳細

- 01 ウォークابل・ネットワーク、交通結節拠点としてのスマート・バスタの整備
- 02 待ち時間や移動時間を楽しめるモビリティの導入
- 03 ウォークابل＋ウェルネス環境の展開
- 04 パブリックスペースの可能性最大化
- 05 インタラクティブなストリートファニチャー
- 06 災害に強い中央通り
- 07 人流誘導による商店街活性化
- 08 スマート図書館
- 09 メタバース（デジタルツイン）
- 10 データプラットフォーム
- 11 3D都市モデル
- 12 スマート・インフラ

01

ウォークブル・ネットワーク、交通結節拠点としてのスマート・バスタの整備

取り組み概要（実行計画より）

- 観光・賑わい創出の拠点
- 交通情報等の配信、乗り換え利便性の向上
- 脱炭素・レジリエント拠点

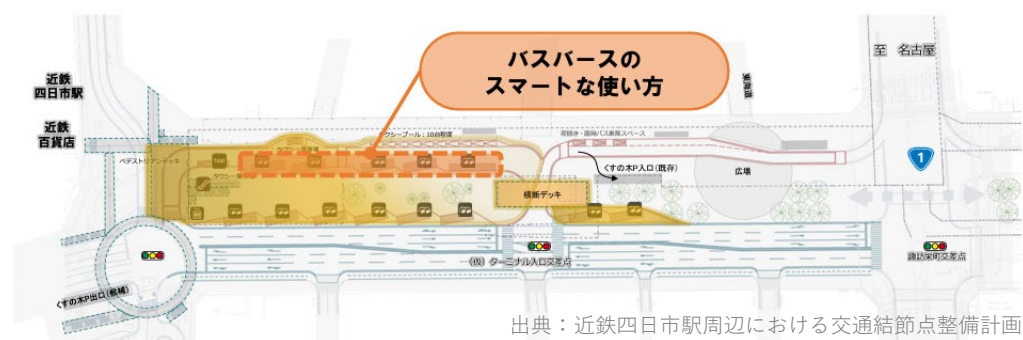


今年度の検討状況

バスタ検討部会等ではターミナル施設形態や事業スキームの検討が具体化しており、スマート・バスタについては継続検討とされている。

2) バス停のデジタル化によるスマートバスタの構築（中長期）

- ◆ バス停のデジタル管理により、曜日や時間帯に応じて空きバースを、多目的車両の利用や荷捌きスペースとしてシェアリング



次年度の予定

バスタ検討部会にて継続検討予定

02

待ち時間や移動時間を楽しめるモビリティの導入

取り組み概要（実行計画より）

- 多様なモビリティの導入
- マルチ・モビリティポートの設置
- 予約システムの構築（四日市版MaaS）



今年度の検討状況

R4年度賑わい創出社会実験の一環として、中央通りにおける自動運転バス、小型カートの実証実験を実施。また、パーソナルモビリティのポートを設置。



次年度の予定

自動運転の導入に向け、引き続き実証実験を予定
MaaSについては、モビリティWGで次年度具体化予定
また、モビリティポート等も検討予定

03

ウォーカブル+ウェルネス環境の展開

取り組み概要（実行計画より）

- 四日市ウォーカブルマップの構築
- 快適なウォーカブル環境の展開



今年度の検討状況

R4年度賑わい創出社会実験で、屋外の混雑状況や環境などデータサーベイを実施。
 （データサーベイの詳細については令和4年度第3回幹事会資料を参照）



次年度の予定

中央通りスマートウォーカブルマップ（仮称）の構築や、利用者に対する快適ルート等の提案について検討予定

04

パブリックスペースの可能性最大化

取り組み概要（実行計画より）

- パブリックスペースの現況把握と可視化
- 場所の予約システム、デリバリーサービスの展開
- パブリックスペースのフレキシブルな利活用



今年度の検討状況

R4年度賑わい創出社会実験で、スケボーパークの設置や仮設店舗の出店を行い、
 使われ方等に関する情報を収集した。また、デリバリーサービスについても未実施ながらシステムを構築した。



次年度の予定

デリバリーサービスの実証実験や、パブリックスペースのフレキシブルな利用について検討予定

05

インタラクティブなストリートファニチャー

取り組み概要（実行計画より）

- 照明による演出
- 人の動きに反応するエンターテインメント要素の付加



今年度の検討状況

街路灯照明に色や動きを追加したライティング技術について、専門メーカーを交えた導入可能性に関する意見交換を行い、現地におけるデモンストレーションなどを実施しながら検討を実施。



次年度の子定

中央通り再編に合わせた導入に向けて継続検討子定

06

災害に強い中央通り

取り組み概要（実行計画より）

- 災害情報の配信、避難所への誘導
- 中央通りにおけるローカルグリッド構築



今年度の検討状況

ARを活用した防災情報提供アプリ「AR Look（あるっく）」を導入。市全域におけるローカルグリッドの在り方やコンセプト等については必要性の観点から検討中。



次年度の子定

ローカルグリッドの導入に向けて継続検討子定

07

人流誘導による商店街活性化

取り組み概要（実行計画より）

- 人流・混雑状況の可視化
- 人流の誘導
- 店舗側のマーケティング支援



今年度の検討状況

R4年度賑わい創出社会実験で、屋外の混雑状況や環境などデータサーベイを実施。
（データサーベイの詳細については令和4年度第3回幹事会資料を参照）

08

スマート図書館

取り組み概要（実行計画より）

- デジタル技術を活用した効率的な図書館運営について検討
- 図書館周辺や中央通りにおける電子書籍閲覧を検討



今年度の検討状況

スターアイランド跡地に立地する新図書館について、基本設計を検討中

09

メタバース（デジタルツイン）

取り組み概要（実行計画より）

- 様々なコミュニケーションツールとしての活用
- シティプロモーション
- 仮想空間と現実空間のハイブリッドによる市民生活の効率化や経済の活性化



今年度の検討状況

FIXER社がプロトタイプを構築し、R4年度賑わい創出社会にてデモンストレーションを実施。



次年度の予定

メタバースのさらなる活用方法について検討予定

10

データプラットフォーム

取り組み概要（実行計画より）

- 公民学で連携して必要なデータを集約する
- 十分なセキュリティにより安全性を確保
- 新たなイノベーションの創出や、スマート化の取り組み全体の最適化



今年度の検討状況

本資料の「1. 令和4（2022）年度の主要トピック」のとおり

12

スマート・インフラ

取り組み概要（実行計画より）

- サービスを実現するために必要なデータを計測するために、センサなどの情報通信機器を整備



今年度の検討状況

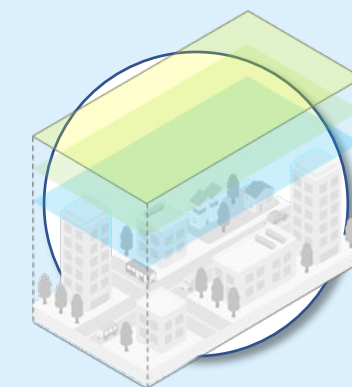
本資料の「1. 令和4（2022）年度の主要トピック」のとおり

11

3D都市モデル

取り組み概要（実行計画より）

- 3D都市モデルを構築し、オープンデータ化
- ユースケースを開発



今年度の検討状況

国土交通省ProjectPLATEAUの補助事業を受け、3D都市モデルを整備。災害リスクの可視化及び、整備計画案データ・人流データの重畳を実施予定。

整備状況

LOD1	今回事業で新たに整備
LOD2	今回事業で新たに整備
LOD3	今回事業で新たに整備

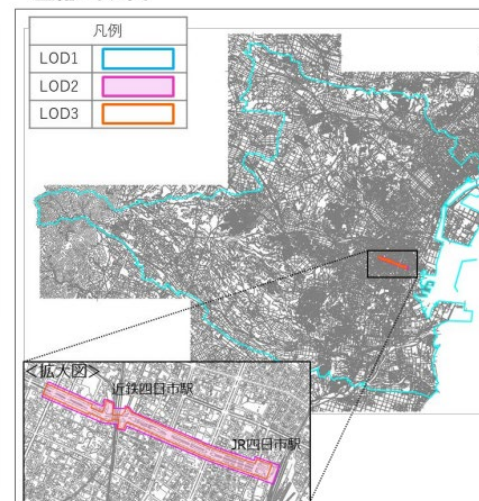
整備範囲

LOD1	市域全域（206.5km ² ）
LOD2	中央通りの沿道建物〔近鉄四日市駅～JR四日市駅〕（0.2km ² ）
LOD3	中央通りの道路空間〔近鉄四日市駅～JR四日市駅〕（2.0km）

整備地物

LOD1	建物、道路、都市計画決定情報、土地利用、災害リスク、地形
LOD2	建物
LOD3	道路、都市設備、植生

整備エリア図



次年度の予定

整備した3D都市モデルの普及啓発を実施するとともに、モデルを利用したユースケースの開発に向けて検討予定

Ⅲ. 今後実行計画に反映する 予定の検討内容

- 地区の脱炭素化
- 中心市街地の人流測定によるにぎわい創出
- 中心市街地まるごと情報発信
- 燃料電池を用いた水素の利活用

地区の脱炭素化



今年度の検討状況

市環境部にて、創エネ・蓄エネ・省エネの推進、中央通り沿道施設を含む公共施設の ZEB 化推進、気候変動への適応などについて検討中

次年度の子定

中央通り再編に伴って整備される円形デッキの屋根へ太陽光発電フィルムを設置することを具体的に検討予定

また、ローカルグリッドの整備についても並行して検討を具体化する

中心市街地の人流測定によるにぎわい創出



今年度の検討状況

市商工農水部にて、現在、既存の手動による人流測定（歩行者流量調査）を AI カメラ等を使用したケースに置き換えた場合の課題などについて整理・検討中

次年度の子定

人流データを商店街と共有することによるマーケティングの活用、来街者にデータ提供することで回遊促進、行政側でデータを活用することで調査費用の削減などについて具体的な検討を進める

中心市街地まるごと情報発信



今年度の検討状況

市政策推進部、シティプロモーション部にて、中心市街地に関する情報を中心に発信媒体整備について検討中

次年度の子定

市の様々な部署・企業も使用可能で、コンテンツに応じて適切な媒体で配信できるシステムの構築を検討し、その構築を進めるための民間企業との協力や予算の確保について検討を進める

燃料電池を用いた水素の利活用



今年度の検討状況

市商工農水部にて、コンビナート内で製造した水素の中心市街地におけるエネルギー源としての活用可能性を検討中

次年度の子定

燃料電池関連の事業者等との協議を継続して実施し、実装に向けた課題の洗い出しや具体的な検討を進める

上記の内容については引き続き検討・協議などを行い、検討熟度が高まり関係者間での合意形成や事業化の見通しがたった際には、実行計画を改定して反映する想定です。
今年度（R4年度）においては、実行計画を改定することは予定していません。

IV. 次年度の進め方案

目標スケジュール

番号	取り組み内容	スケジュール					
		令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度	令和7 (2025) 年度	令和8 (2026) 年度	令和9 (2027) 年度 以降
(参考)	近鉄四日市駅 周辺等整備工事		近鉄四日市駅 西工区竣工▼	近鉄四日市駅～ 国道1号工区竣工▼	全区間 竣工▼		
01	ウォークابل・ネットワーク、 交通結節拠点としてのスマート・ バスタの整備		与件整理・関係者調整		システム 構築		実証実験 部分実装
02	待ち時間や移動時間を楽しめる モビリティの導入		実証実験	システム構築		部分実装	全体実装
03	ウォークابل+ ウェルネス環境の展開		設計・調整		部分実装		全体実装
			センサ等の実証実験				
04	パブリックスペースの 可能性最大化		設計・調整		部分実装		全体実装
			実証実験				
05	インタラクティブな ストリートファニチャー		設計・調整		部分実装		全体実装
06	災害に強い中央通り		設計・調整		部分実装		全体実装
07	人流誘導による 商店街活性化		与件整理、 関係者調整		実証実験	部分実装	
08	スマート図書館				設計、調整、実装		
09	メタバース (デジタルツイン)		システム構築			実装 (運用開始後に段階的に拡張)	
10	データ プラットフォーム		システム 構築			実装 (運用開始後に段階的に拡張)	
11	3D都市モデル		システム 構築			実装 (運用開始後に段階的に拡張)	
					ユースケース実施		
12	スマート・インフラ		設計・調整		部分実装		全体実装

直近の進捗状況や次年度の予定

令和4 (2022) 年度の 進捗状況	令和5 (2023) 年度の 予定
—	—
バスタ検討部会で継続検討されているため、 遅れなし	バスタ検討部会にて検討予定
R4年度賑わい創出社会実験にて、 新たなモビリティの導入などに関する 一定の成果が得られているため、 遅れなし	MaaSについては、モビリティWGで次年度具体化予定 また、モビリティポートでの充電機能の追加を検討予定
R4年度賑わい創出社会実験にて、 データサーベイや視覚化に関する 一定の成果が得られているため、 遅れなし	ウォークابلマップの構築や、 利用者に対する快適ルート提案について検討予定
R4年度賑わい創出社会実験にて、 デリバリーサービスの検討など 一定の成果が得られているため、 遅れなし	デリバリーサービスの実証実験や、パブリックスペース のフレキシブルな利用について検討予定
街路灯照明などのデモや検証が 進められていることから、 遅れなし	中央通り再編に合わせた導入に向けて検討予定
ARアプリの開発やローカルグリッドに関する 検討を進めていることから、 遅れなし	ローカルグリッドの導入に向けて検討予定
R4年度賑わい創出社会実験にて、 データサーベイを通して人流計測を行うなど、 一定の成果が得られているため、 遅れなし	データのマーケティング活用、来街者にデータ提供する ことで回遊促進、行政側でデータを活用することで調査 費用の削減などについて検討予定
市と近鉄グループと基本計画の確認事項について合意し、 基本設計を検討中であることから、 遅れなし	基本設計など検討予定
R4年度賑わい創出社会実験にて、 FIXER社のプロトタイプを公開しており 一定の成果が得られているため、 遅れなし	メタバースのさらなる活用方法について検討予定
市が主体となりデータプラットフォームのシステム構築 が完了しているため、 遅れなし	データプラットフォームの機能拡充に向けて検討予定
国土交通省のPLATEAU事業と連携して3D都市モデルを 構築済みであり、モデルを活用したユースケースの検討 も進めているため、 遅れなし	都市モデルのデータの増強を実施するとともに、 モデルを利用したユースケースの開発に向けて検討予定
スマート・インフラの発注に向けて、 R5年度にプロポーザルを予定して準備を進めているこ とから、 遅れなし	先行整備区間分の発注と、後続工区について検討予定

いずれの取り組みもR4年度において遅れがないため、R5年度にスケジュールを見直す点はありません。

V. 関係者一覧

<p>事業主体の名称</p>	<p>四日市スマートリージョン・コア推進協議会（実行計画の推進主体）</p>
<p>事業主体の構成員</p>	<p>地方公共団体代表 : 四日市市</p> <p>有識者 : 東京大学大学院 村山 顕人 名城大学理工学部 松本 幸正</p> <p>幹事会員 : 近畿日本鉄道株式会社 三重交通株式会社 三岐鉄道株式会社 三重県タクシー協会/株式会社三交タクシー 学校法人みえ大橋学園 株式会社近鉄百貨店 四日市商工会議所 株式会社ディア四日市 近鉄グループホールディングス株式会社 近鉄不動産株式会社 株式会社シー・ティー・ワイ 株式会社三十三銀行 中部電力株式会社</p> <p>国土交通省 中部地方整備局 三重河川国道事務所 三重県</p> <p>賛助会員 : 株式会社FIXER マクニカ・富士エレホールディングス株式会社 株式会社VACAN 株式会社日建設計シビル FUTURE株式会社 富士通Japan株式会社</p> <p>オブザーバー : 国土交通省 都市局 街路交通施設課</p> <p style="text-align: right;">（敬称略_順不同）</p>
<p>実行計画の期間等</p>	<p>令和4（2022）年度～令和8（2026）年度（予定）</p>



30% off

半額

予約完了
10:30-
2人
テラス席

中央通り
100m先
飲食店

SHOP
10% off